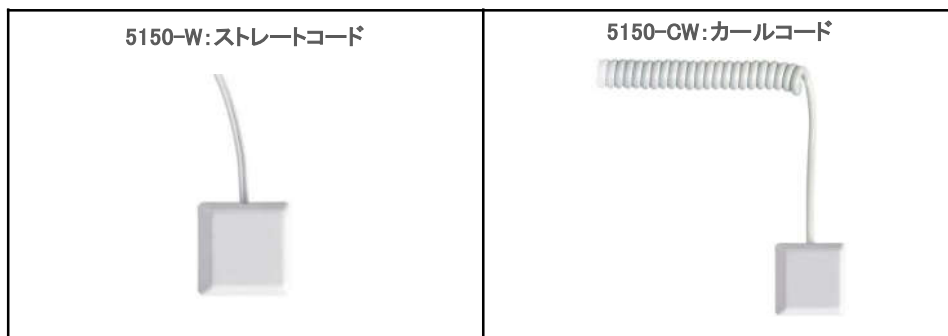


ガラス破壊センサー

5150

シリーズ



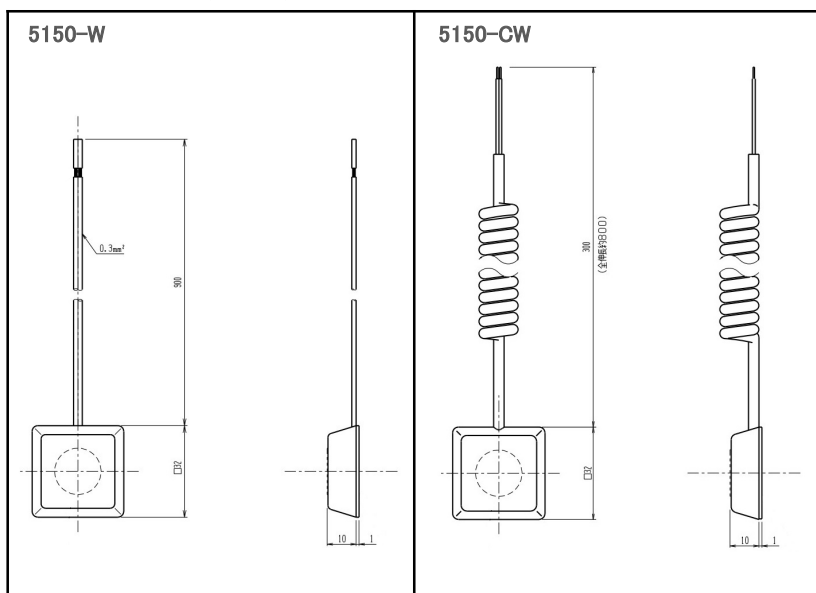
特徴

- ガラス破壊時の特有の衝撃波を圧電素子により検知します(両面テープ接着型)
- 風による窓ガラスの振動やノック音では反応しません
- 優れた耐静電気、耐電波障害設計

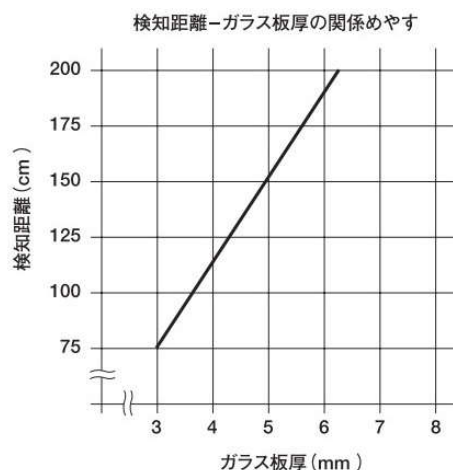
製品仕様

モデル	ガラス破壊センサー	
機器形式	5150-W	5150-CW
取付場所	屋内ガラス面(両面粘着シート固定)	
検知方式	圧電式	
検知距離	半径2m / ガラス厚み:6.4mm	
接点出力	リード線式(2線・無極性) 常時: 24Ω以下(閉路に相当)、検知時: 1MΩ以上(開路に相当)、接点容量: DC15V 15mA以下	
出力時間	ワンショット(1sec~10sec)	
動作環境	-18℃ ~ +50℃	
質量	約25g	
寸法	(W):32×(H):32×(D):11mm リード線長:900m/ストレート	(W):32×(H):32×(D):11mm リード線長:300m/カール(※全伸長約:800mm)

寸法 (mm)



検知距離



1. 検知距離(破壊された所から、センサーまでの距離)はコントローラーの検出感度、ガラスの厚み、破壊規模により影響されますが、概ね上図のようになります。
2. 本機よりおよそ3cm離れた所をドライバーの柄などで打突し、テスターにてリード間の抵抗値が1MΩ以上(警報状態)、1~5秒後に24Ω以下(警戒状態)になることを確認してください。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。